

毎月11日は「GAPの日」(いい農業の語呂合わせから)！毎月チェックをお忘れなく！

目指せ！腐敗事故0件！

腐敗を防ぐための注意点

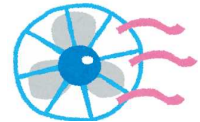
①整枝・換気を行い、通気性をよくしましょう。



混み合っていると湿度も上がり、病気もすぐに広がります。

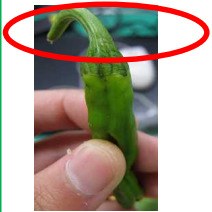


株の中にも空気が通るようにしましょう。

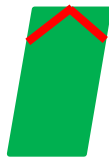


ハウスはサイドや妻面を開放しましょう。
循環扇のあるほ場では積極的に活用しましょう。

②シシトウでは爪どりを避け、丁寧に収穫しましょう。



ヘタの部分を拡大



爪どり



通常

爪どりすると切り口が拡大し、乾燥しづらくなります。
そこから腐敗やカビの発生が始まるので注意が必要です。

③適期収穫、選別を徹底しましょう。

カラーピーマンは樹上で追熟させるため、特に注意が必要です。
過熟、傷果は選別の段階で除きましょう。

傷んだ箇所は腐敗が早く進みます。収穫・選別時に注意して取り除きましょう。



収穫物に傷がつかないように丁寧に収穫しましょう。



④収穫物は直射日光の当たらない、涼しい場所で保管しましょう。



新聞紙を被せると効果的です。
(遮熱資材やアルミなどの反射する資材を被せても同様の効果があります)

農薬使用時の注意点を再確認しましょう

- ①使用する前に「れいほく八菜病害虫防除基準・記録簿」と農薬のラベルを確認しましょう。

(例)アブラムシを防除したい場合

IRAC	殺虫剤	アブラムシ類
4A	スタークル顆粒水溶剤	◎
9B	チェス顆粒水和剤	◎
9B	コルト顆粒水和剤	◎

アブラムシ類が◎の薬剤を選択しましょう。

3つのうちのどの薬剤を使おう？ → ポイントを確認しながら選択しましょう

IRAC	殺虫剤	回数	使用月日		
			1回目	2回目	3回目
4A	スタークル顆粒水溶剤	2回以内			
9B	チェス顆粒水和剤	3回以内			
9B	コルト顆粒水和剤	2回以内	5	28	2

ポイント②

ポイント①

ポイント① 使用回数を確認しましょう。 → コルト顆粒水和剤は使えない

ポイント② IRACコードが違う薬剤を使用しましょう → コルト顆粒水和剤とチェス顆粒水和剤の使用は避ける
(抵抗性の発生を防ぐため)。(IRACコードが同じ「9B」だから)

スタークル顆粒水溶剤を使おう！

農薬容器の使用条件(濃度・時期など)と注意事項も読みましょう。

殺虫剤	使用濃度・量	使用時期
スタークル顆粒水溶剤	2,000~3,000倍	収穫前日まで

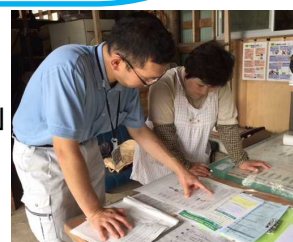
- ②使用後に「れいほく八菜病害虫防除基準・記録簿」へ記録しましょう。

4月	10日 アブラムシ 15日 定植 15~25日 アブラムシ	26日 アブラムシハ 切り替え	15日 アブラムシ 5 (植内 19/株)	3/27 栽培講習会
5月	12日 節刈 はじめ 23日 液肥 3ℓ 25日 収穫 はじめ 31日 液肥 3ℓ	1日 Aから水量 上向 800ℓ 中向 1000ℓ 下向 900ℓ	15-25日 石灰粉 80 1.5kg 28日 コルト顆粒水和剤 15,000倍 50ℓ 30日 ストレスキーマーティン (1ℓ/7) 散飼	5/9 シート10 5/11 GAPのB フェリックス 5/14 現地検討会

↑ 記入例

担当からのメッセージ

月1回の点検シートを記入していただけてますか？
先日巡回時に「GAPを通じて、作業の確認をキチンとするようになった！」
という声を伺いました。
初めは面倒と感じても、慣れればなんともないはず！
根気よく続けていきましょう！



GAPでご不明な点がありましたらJA土佐れいほく(橋本)、または普及所(竹村、吉田、掛水)までお問い合わせください。
TEL JA:0887-82-2803 普及所:0887-82-0129